

◇石狩川で河道を再生する工事を今年度から開始します！

【現状と課題】

◆近年、石狩川の旭橋付近から永山橋付近の間では、川の水が流れるところの川底が侵食されて流路も狭くなり、下層の岩盤が露出して、川岸を守る護岸ブロックが壊れているところもあります。

◆そのままにしておくと、川岸の侵食が進行し堤防が危険な状態になったり、川底の侵食が進行することにより橋脚の基礎の安全度が低下する橋もあり、危険な状態となる可能性があります。

◆また、岩盤が露出しているところが多いので、サケの産卵床が上下流に比べて少なくなっています。

◆もともとの川原には樹木が生えていますが、この川原の樹木は、流路を固定し川底の侵食を助長しています。



北旭川大橋下流付近の状況



秋月橋左岸橋脚付近の状況



平成5年の秋月橋上流の状況(礫の川原)



秋月橋下流左岸の状況(護岸ブロックの損傷)

【 これからの整備について 】

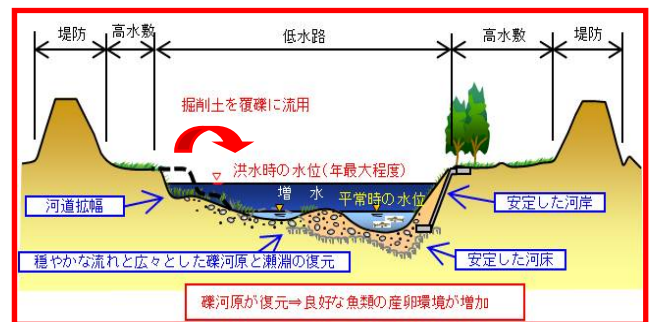
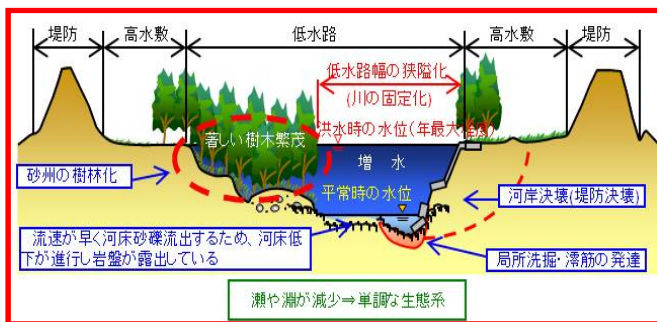
◆川底が掘れる原因として、河川改修により平常時の水の流れる幅（流路）が狭まって、水の流れがより強くなり川底の土砂や石が流れやすくなったこと、その川底の土砂や石が流されてその下にあった比較的柔らかい岩盤が露出したことで、さらに流れが強くなり、その岩盤も侵食されてしまったことが、一因であることがわかりました。

◆そこで、川岸や橋の安全度と自然の川原を回復するための対策について、平成 19 年から学識経験者らとともに検討を行っており、今後、治水面や環境面を総合的に考慮した対策を行います。

◆対策のための整備は、川の幅が比較的狭いところを広くして水の流れる強さを低減させることと、発生した土砂や石を有効活用して、深掘れ箇所や岩盤が露出したところに補充することで、自然の川原の再生を図ります。その時に中州や川岸に繁茂している樹木は必要最小限で取り除きます。工事は今年の冬から数年かけて、花咲大橋周辺の下流から実施する予定です。

～現状の問題点～

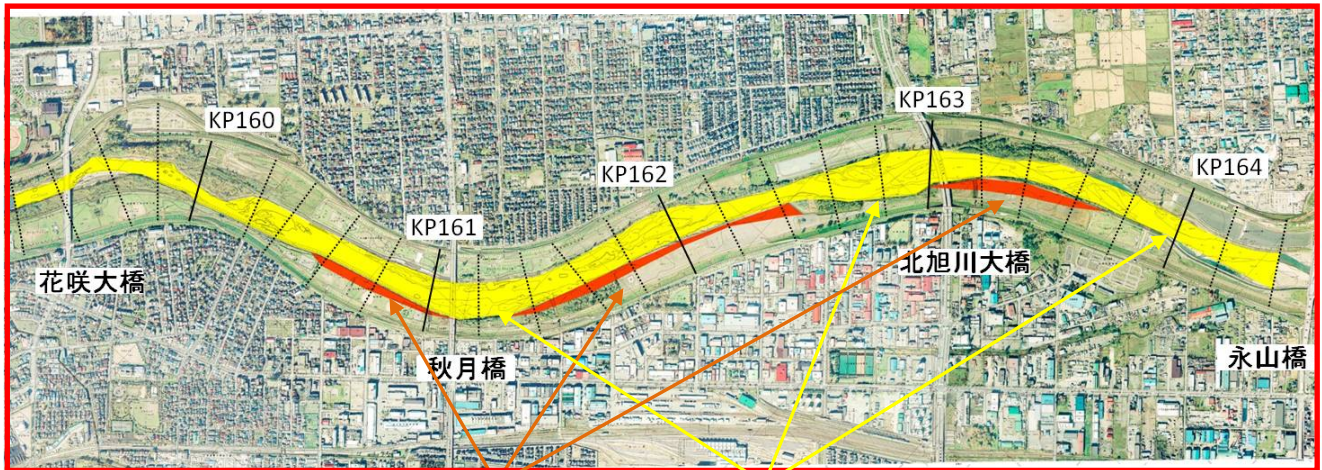
～将来の目標～



川底の侵食により様々な影響があります

整備の効果として、サケ等の産卵環境の創出・再生も期待されます

～ 整備する範囲 ～



川幅を広げます

深掘れ箇所や岩盤が露出したところに土砂や石を補充します

※川幅を広げることにより、高水敷の利用が一部制限されます

お問い合わせ先

お気づきの点がありましたら、下記まで連絡をお願いします

国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部 旭川河川事務所
〒079-8411 旭川市永山1条21丁目 TEL: (0166) 48-2131